

令和5年度大阪府がん対策推進委員会第2回小児・AYA世代のがん対策部会（概要）

1. 日 時：令和6年3月5日（火）～令和6年3月15日（金）（書面開催）

2. 議 事：第3期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について

報 告：（1）大阪府小児がん拠点病院の更新について
（2）令和6年度新規事業について

3. 委員からの意見要旨

議 事：第3期大阪府がん対策推進計画の進捗管理について

【意見要旨】

○遠隔コミュニケーション環境整備事業について、有効活用の観点から、各病院で分身ロボットを管理するのではなく、1箇所ですべて管理し、利用しやすい環境にしていきたい。

○小児・AYA世代のがんについての正しい知識の普及に対する取り組みがないように思う。がん教育はむしろ、がんと生活習慣を結びつける内容なので、そこと関連のない小児・AYAがんに関しては誤解を広める可能性が懸念される。何らかの対策が必要。

○次年度の取り組みについて、連携する患者団体を限定するような記載になっているが、多様ながん患者をはじめとする関係者との連携の可能性を残した記載にした方がよい。

○小児の妊よう性温存について、どのような方法が対応可能か医療機関ごとに提示していきたい。

【審議結果】

承認

報 告：

（1）大阪府小児がん拠点病院の更新について
意見なし

（2）令和6年度新規事業について
＜地域統括相談支援センターモデル事業＞

【意見要旨】

○相談支援

- ・小児・AYA世代への相談支援も可能な体制を作ってもらいたい。
- ・がん相談支援センターで対応するものが多岐にわたっているため、集約化してもら

えると助かる。

- がんサロンは大人のがん患者用というイメージがあり、小児や AYA 世代は少し使
いにくい印象があるため、病院のソーシャルワーカーなどからスムーズに情報提
供ができたり、相談支援センターにつなげてもらえるとありがたい。
- ピアサポーターの養成について、小児・AYA 世代の特徴は多様性であるため、多
様な患者の多様な悩みに対応できる仕組みの検討と、人材の育成をお願いしたい。

<小児がん治療経験者長期フォローアップ支援事業>

- 現在病院とつながっていないがん経験者への啓発
 - ・現在主治医がいない、就学や就職で地元を離れた、などの病院と繋がっていない
経験者への啓発（例えば会社の検診などでのリーフレット配布など）も合わせて
整備してもらいたい。
 - ・若い世代にリーチできるよう SNS 等、新たな周知の方法にトライしてみる必要
がある。
 - ・各医療機関からの長期フォローアップから漏れている方に案内が届くよう、小児
慢性特定疾患のデータを活用するなどしてもらいたい。
- 二次がん検診費用の更なる補助拡充が必要。
- 大阪には移行期医療支援センターもあり、長期フォローアップと連携して成人科
への不安の少ないスムーズな移行が行えるよう、二次がんが見つかって成人科
での早い治療に進めるよう、お願いしたい。
- 患者の利便性を考え、検診機関が府内に点在する必要があると思う。少子化、患者
数の減少があっても、検診機関は確保できるよう留意すべき。